

平成 27 年度 第 3 回沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会議事要旨

日 時：平成 27 年 10 月 15 日（木）14：00～15：30

場 所：琉球大学医学部附属病院 3 階がんセンター

出席者：11 名 樋口美智子（那覇市立病院）、島袋 幸代（沖縄県立中部病院）、仲宗根るみ（北部地区医師会病院）、佐渡山英子（県立宮古病院）、平良芳子（県立八重山病院）、石嶺彩香（県立南部医療センター・こども医療センター）、西田悠希子（ハートライフ病院）、高良清健（友愛会ケアプランセンター）、松岡栄二、大久保礼子、増田昌人（琉球大学医学部附属病院）

欠席者：2 名 上原弘美（豊見城中央病院）、當銘 由則（沖縄県がん患者会連合会）

陪席者：3 名 兼島典子（県立八重山病院）、古謝（県立宮古病院）、井上亜紀（琉球大学医学部附属病院）

【報告事項】

1. 平成 27 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会議事要旨（資料 1）

協議に先立ち、資料 2 に基づき、平成 27 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会議事要旨が承認された。

2. がん患者ゆんたく会について（7～9 月）

資料 2-1, 2-2, 2-3 に基づき、7～9 月に各拠点病院にて開催された「沖縄県がん患者ゆんたく会」について、報告があった。樋口副部長より、那覇市立病院の 9 月患者サロンは、県立図書館とのコラボ開催であったとの報告があった。

3. がん相談件数（7～9 月）

資料 3-1, 3-2, 3-3, 3-4 に基づき、樋口副部長より、各拠点病院のがん相談件数（1～3 月）について、報告があった。今後は、ID 有る無し、専従専任など、国立がんセンターの統計の処理方法にあわせて変更や修正があるかもしれないとの意見があった。

4. 各部会事業の進捗報告について

(1) 【施策 1 関連】地域の療養情報 2016 年版について

事務方より、ハンドブックの第 2 回までワーキングを開催し、分担原稿の執筆を進めており、巻頭に、「病院へ行きましょう」「治療を決める時間は短い」など、患者さんやご家族に訴えるページを入れた紙面づくりをしていく、10 月中に編集業者と打ち合わせをして編集内容のすり合わせを行うとの報告があった。

(2) 【施策 2】がん相談支援センターの広報について

資料 4 に基づき、大久保委員より、無料新聞広告を毎月継続していく中で、新聞を見たと言って相談に来られる方も出てきているとの報告があった。また、普及啓発部会主催の ROK ラジオ番組（「チャットステーション L」9 月 30 日生放送）へ、中部病院の島袋委員（看護師）、琉大病院の大久保委員（MSW）の 2 名が出演し、消化器がんについては、北部地区医師会の赤松先生、がん健診については、琉大病院がんセンターの井岡医師にお話しいただいたとの報告があった。

(3) 【施策 3】患者サロン間の情報交換会について

大久保委員より、前回患者サロンの情報交換会だけでなく、イベントに共催する形でポスター

展示などできないかを検討している中、2月の中部病院のライカムイベントに、「患者サロン」ブース展示について、中部病院で検討していただくことが協議された。

(4) 【施策3】 がんピアサポーターフォローアップ研修について

資料5に基づき、大久保委員より、千葉県がんセンターがん専門相談員の野田真由美さん、愛媛がんサポートオレンジの会理事の松本陽子さんを招き、10/9にピアサポート講演会、10/10患者を用いて面談のスキルアップ演習、及びがん患者交流会を開催したとの報告があった。ファシリテータ兼アドバイザーで、部会委員の中から琉大より大久保委員、中部病院より島袋委員が参加した。

大久保委員から、ピアサポーターさんは、相談を受けるだけでなく自身のご経験を話すことが出来るようなトレーニングをしていること、樋口副部長から久米島の方からピアサポーターの活動をしたいという問い合わせがあり、地域統括相談支援センターを紹介したとの話があった。

(5) 【施策4】 就労支援関係者との意見交換会について

樋口副部長より、9月から就労支援の相談窓口を開く準備をしており、10月からは患者サロンを開催、11月から毎月第3(水)月1回窓口を開設するとの報告があった。琉大病院、那覇市立病院ともに、院外の患者さんの就労の相談を受けるので、遠慮なく紹介してほしいとの周知があった。

(6) 【施策5】 相談センター満足度調査について

資料6に基づき、大久保委員より、国立がんセンターのPDCAサイクルの確保のための利用者調査、及び統一相談件数のカウントに、前回の部会で参加協力する意向となったので先方にその旨提出済みであり、協力施設の選定は、必ずしも選ばれるわけではなく、10月以降とあったがまだ連絡がないので、連絡が来次第部会委員の皆さんに周知するとの報告があった。

(7) 【施策6】 相談支援センターマニュアル/内規について

大久保委員より、琉大病院では、「がん相談支援センター」の規程を作成しているが、場所の選定や運用など内規にかかる部分を検討中で次の段階にあるとの報告があった。島袋副部長より、中部病院も規程や設置要項を作成検討中であるがしばらく時間がかかること、那覇市立病院も設置要項や内規、マニュアルを作成し院内で検討中で組織図的には、総合相談センター内にがん相談支援センターがある状況であると、それぞれ報告があった。樋口副部長より、今後は、規程などの提示を求められることが多くなるので、各病院とも正式に制定しておく必要があるとの助言があった。

(8) 【施策7】 がん相談員実務者研修会について

資料7に基づき、大久保委員より、9月25日に琉大病院で開催されたが、就労支援の基礎知識を学ぶという観点から、ビデオ講座及びグループワークも取り入れた内容としたとの報告があった。拠点病院以外の病院、クリニック、在宅施設からも、MSWや看護師といった26名の参加があった。プレテストポストテストの作りこみが甘かったかとの反省点があるが、満足度が高かったのでよしと考えているとの報告があった。

樋口副部長より、那覇市立病院は1月30日に予定しており、国立がんセンターの高山先生を講師に迎えた「コアバリュー (MSWの質向上)」のテーマで予定しており、事前に相談内容のニーズを調査して質評価表をチェックして参加する方法と、当日質評価表をチェックしてグループ

ワークに参加する方法とを高山先生と調整中であるとの報告があった。

島袋副部長より、中部病院は2月20日を予定しており、「がん相談における基本的なコミュニケーション・対象者の理解」平安病院の専門看護師の山崎さん、「面接の技法」として南部医療センターの臨床心理士の新垣さんに講師を依頼しており、那覇市立病院の質評価表(チェックリスト)の活用を検討中であるとの報告があった。これらの研修は、がん相談員の認定ポイントに加算されるように設定していることも周知された。

(9) 【施策9】セカンドオピニオン・アンケート調査について

資料8に基づき、大久保委員より、県内のセカンドオピニオンのアンケート調査結果報告書について、増田部長と部会委員各自で内容の確認をいただき、特にご意見なく了承を得たので、回答いただいた病院に郵送するとの周知があった。

(10) 【施策10】セカンドオピニオン・リスト作成について

資料9に基づき、大久保委員より、協議会HPに掲載されているセカンドオピニオン・リストを調査し、HPの更新済みとの報告があった。

5. その他

(1)がん患者宿泊支援制度 について

樋口副部長より、那覇市立病院では、県からの依頼で、がん患者宿泊支援制度の活用状況の実態調査をしたいとの話があるとの周知があった。部会委員からは、放射線治療を本島で受ける場合の宿泊費の支援ではあるが、ホテルパック、素泊まりのホテルや民宿、アパートの一間の間借りの方が安いという声を聞いているとの意見があった。樋口副部長から、各病院とも、県からの調査依頼があるかもしれないので、患者さんの声を集めておくようにしてほしいとの依頼があった。

(2)中部病院主催による「がんを知ろう」フェア について

島袋副部長より、11月14日に中部病院主催で、イオンモール「ライカム」でのイベントを計画していたが、諸事情により2月6日に変更となり、中部・琉大・那覇市立病院の医師によるミニ講演会や、栄養士・認定看護師・MSWによる相談会などを予定している。部会から要望のあった患者会のブース展示も中部病院のイベント事務局に依頼してみるが、他店の看板などを隠してはいけないなどの制約もあり、追って、相談支援部会へも協力を依頼したいとの周知があった。樋口副部長より、国立がんセンターから、がん相談支援センターPR資材(法被・のぼり旗・横断幕)の貸し出しが可能なので、問い合わせをしてはどうかとの助言があった。

(3)宮古病院の血液内科の開設 について

今まで、宮古病院には血液がんの専門医がいなかったが、10月より中部病院から月1回、血液内科の外来を開設することになり、患者会からも喜ばれているという周知があった。

(4)11/28九州ブロック・地域相談支援フォーラムについて

別紙資料に基づき、大久保委員より、実行委員として琉大から大久保委員が参加する予定であるとの周知があった。那覇市立病院から1名の参加予定、中部病院からも1名参加できるよう調整中、宮古、八重山病院からの参加はなし、との報告があった。

【協議事項】

1. 部会活動全体についての確認

資料 10-1, 10-2 に基づき、樋口副部長より、各施策の状況確認があり、【施策 3】患者サロンの情報交換会、【施策 4】就労支援関係者との意見交換会は、下半期 1～3 月をめどに検討中であること、【施策 5】相談センター満足度調査は、国立がんセンターの研修班に参加予定であること、【施策 6】相談支援マニュアル/内規の整備は、各々の病院にて整備していくこと、の進捗報告がなされた。【施策 1】地域の療養情報は、2016 年版の作成中、【施策 2】がん相談支援センターの広報は、ラジオ番組出演と毎月の新聞広告の掲載依頼、【施策 7】がん相談員実務者研修会は、琉大病院は実施済み、中部・那覇市立病院が実施に向け準備中、と順調に進行中である。【施策 8】相談支援部会活動報告、【施策 9】セカンドオピニオン・アンケート調査、【施策 10】県内セカンドオピニオンリストの作成・公開は実施済み、と 10 施策の状況が確認された。

2. その他

(1) 八重山の産業まつりについて

宮良委員より、12 月 5 日、6 日に、八重山の産業まつりがあり、沖縄心のケア研究会やがん患者会連合会、ゆんたく会と協力して「がんフォーラム」を開催する予定であるとの周知があった。

(2) 増田部長より情報提供

①秋月 玲子氏（厚生労働省健康局がん・疾病対策課がん対策推進官が、沖縄視察にいらられ、11 月 13 日（金）の協議会にてミニ講演会、11 月 14 日（土）には八重山病院の視察及び離島タウンミーティングにてミニ講演会が開催されるとの情報提供があった。

②11 月 14 日（土）、11 月 15 日（日）には浦添市で、リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2015 沖縄うらそえが開催されるが、11 月 15 日（日）午後、通常のタウンミーティングが開催されるとの情報提供があった。

③八重山医療圏、及び宮古医療圏がん医療連携協議会を、3 か月に 1 回程度開催しており、患者会からの要望を医療者や行政に訴える場としている。石垣市図書館との連携も進めており、12 月 6 日（日）出張がんピアキャラバン in 石垣を行う予定であるとの情報提供があった。

④がん患者さんの就労支援として、那覇商工会議所、労働局、ハローワークとの連携を図る準備を進めているとの情報提供があった。

(4) 次回、平成 27 年度第 4 回相談支援部会開催日について

第 1 候補日：平成 28 年 2 月 25 日（木）

第 2 候補日：平成 28 年 3 月 3 日（木）